

国際診療科

国際診療科医長 名倉功二

「国際外来」開設しました



前列：右から入交先生 南谷先生 名倉先生 三島先生
後列：国際医療コーディネーター 看護師 医療通訳 事務員

※新入歓迎会の余興用に撮影した写真です

私たちりんくう総合医療センター国際診療科は、開院当初から多く来院していた外国人患者に対応するために2006年に開設されました。英語以外にも中国語、スペイン語、ポルトガル語の医療通訳者が配置され、各専門診療科をスムーズに受診できるよう医療コーディネーターが活躍しています。現在に至るまで国際診療科の活動範囲は右肩上がりに増えてきています。

みなさんご存知の通り、近年関西地域を訪れる外国人観光客は爆発的に増加しており、2019年の出入国管理法の改正でさらなる在留外国人の増加が予想されます。これは当院と地域医療機関を受診される外国人患者さんのさらなる増加を意味します。当院は複数の外国語に対応できる体制を整えており、また長年にわたる外国人対応の経験の蓄積があります。

外国人患者の診療には、それを困難にするいくつかの壁があります。まずは言語の壁です。病気になった時の症状を正確に伝えることは母国語でも難しいものです。まして外国語ではその困難はさらに増します。次に医療制度の壁です。日本に住んでいる我々にとっては自然に理解できる医療システムについても、国が変われば異なります。そして文化の壁があります。宗教はもちろん、健康な状態では大きくは意識されない有形無形の文化の差が、医療現場では時に問題となります。

基本的に日本の医療機関、医療者は多忙です。その多忙な中さらに外国人患者が受診すると、通常以上の時間、労力が求められ、医療者の疲弊につながり、また受診した外国人患者さんの満足度の低下につながってまいります。

そのような背景のもと、受診される外国人患者さん、地域の医療機関、また当院の各診療科の全てに貢献することを目標として、このたび「国際外来」を開設しました。当外来では、まずは英語と中国語話者を対象に診察を受けていただく体制を整えています。診療の対象

としては特に限定はしていません。多くの医療機関で「総合診療科」や「総合内科」で対応する疾患の範囲をイメージしていただければと思います。

街を歩くと多くの外国人をみかけます。それはここ大阪が外国人の方々にとって特に魅力的だからだと思います。私たち日本人も大好きな日本の自然、文化を外国人にも楽しんでもらえて誇りに思うのと同時に、外国人のみなさまにも、日本居住中、旅行中に快適に過ごしていただきたいと思います。私たちは健康面での不安を取り除くことに貢献していきたいと思っています。

外来診療詳細

診療日 毎週金曜日 13:00-17:00

場所 当院2階外来Cブロック

対象患者 英語、中国語での診察を希望する患者さん。在留外国人、訪日外国人どちらも含みます。治療目的での訪日については別の対応となります。当院ホームページをご参照下さい。

担当 国際診療科 名倉功二
(日本内科学会総合内科専門医、英語は対応可能)

対象疾患 基本的に内科疾患全般を扱います。